

今週（9月5日から9月9日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積みの終盤に差し掛かったものの、調達ニーズは弱く、落ち着いた地合いで推移した。特段大きな需給要因も無く、当座預金残高は概ね300兆円台前半程度で推移する中、無担保コールO/N物は変動の少ない1週間となった。週初から各業態の調達意欲はやや低調で、▲0.06～▲0.03%の出会いが中心となった。積み最終日に向けた調整の動きなどは限定的で、無担保コールO/N物加重平均レートは週を通して▲0.04%台半ばから後半で推移した。無担保コール市場残高は5兆円台後半から6兆円台前半での推移となり、週後半にはマイナス金利適用開始後の最高残高を更新した。ターム物は、期内物の1W物～2W物で▲0.03～▲0.025%の出会いが見られた。期越え物でも引き合いが見られたものの、参加者の数は少なく、散発的な取引にとどまっている。

固定金利方式の共通担保資金供給オペは、8日に2W・8,000億円がオファーされ、落札額1,970億円（期落ち額1,891億円）の札割れとなった。7日に実施された米ドル資金供給オペは応札額100万ドルにとどまった。

9日には「日本銀行当座預金のマクロ加算残高にかかる基準比率の見直しについて」が公表され、9月から11月の積み期間の基準比率を10.0%とすることが決定された。政策金利残高（金融機関間で裁定取引が行われたと仮定した金額）の見直しについては、「平均して概ね10兆円台となる見込み」と記載されていた。基準比率は市場予想よりも若干少ない印象であった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は▲0.100～▲0.085%程度の水準で推移した。5日から7日のS/Nは▲0.100～▲0.090%の出会い。8日のS/Nは短国の発行要因等あったものの、レートに大きな変化は無く▲0.090%近辺での出会い。9日のT/Nでは様子見をしていた売り手が資金調達に動き、▲0.085%近辺での出会いも見られた。9日のS/Nでは短国等買入オペ等の要因で再び▲0.095%近辺までレートを下げての出会いとなった。

個別のSC銘柄では5Y124～128、10Y336～343、20Y152～157、30Y49～51などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られている。

●短国市場

今週の短国市場は、引き続き堅調な地合いが続いていた。9月に入って短国買入オペのオファー額が減少する中、邦銀のドル調達コストの上昇を背景に、海外筋と見られる買いがしっかりと入っており、需給環境は良好であった。店頭での取引は、オペ見合いで買い進むような動きが鈍くなっていることもあり、引き続き閑散であった。

7日には6M物、8日には3M物の入札が実施された。6M物の入札は、按分レート▲0.2566%、平均レート▲0.2769%、按分比率28.4134%と、概ね事前の予想通りの結果で、セカンダリーでは▲0.29～▲0.2769%の出会いが見られた。3M物の入札は、WI取引で▲0.295～▲0.2875%と強めの出合いが見られる中、按分レート▲0.2645%、平均レート▲0.2817%、按分比率12.2629%と、強めの結果となった。セカンダリーでも▲0.294～▲0.28%の出会いが見られるなど堅調であった。

短国買入オペは9日に1兆2,500億円で実施され、按分利回較差▲0.006%、平均利回較差▲0.001%、按分比率36.5%と、需給の良さを反映した結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、週間の償還総額5,300億円程度に対し、発行総額は3,500億円程度で、石油、機械、商社、小売、建設、不動産等の業態からまとまった発行案件が見られた。発行残高は15兆円程度となっているものの、9月末に向けた有利子負債削減の動きもある中、一部の期末越え物に関しては積極的な応札姿勢が見られた。発行レートは、銘柄によるばらつきはあるものの、概ね0.00%近辺が中心となった。

6日にはCP等買入オペが前回は1,500億円増額の5,000億円で実施され、結果は按分レート▲0.002%、平均レート▲0.001%、按分比率36.4%となった。前回はレートが若干低下したことについては、通知額が増加したことや、月末に向けたオペレートの低下期待が影響した可能性が考えられる。

●短期金融市場関連指標

|         | 日経平均 (円)  | 新発10年物<br>国債利回り (%) | 為替<br>(ドル/円中心相場) | 無担保コールO/N<br>(加重平均・%) | 東京レポレート(翌日物・<br>T+1スタート・%) | 日銀当座預金残高<br>(億円) |
|---------|-----------|---------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 9/5 (月) | 17,037.63 | △ 0.025             | 103.92           | △ 0.045               | △ 0.088                    | 3,003,600        |
| 9/6 (火) | 17,081.98 | △ 0.025             | 103.50           | △ 0.046               | △ 0.094                    | 3,028,500        |
| 9/7 (水) | 17,012.44 | △ 0.060             | 101.45           | △ 0.047               | △ 0.095                    | 3,029,700        |
| 9/8 (木) | 16,958.77 | △ 0.040             | 101.66           | △ 0.047               | △ 0.100                    | 3,030,300        |
| 9/9 (金) | 16,965.76 | △ 0.019             | 102.25           | △ 0.046               | △ 0.091                    | 3,043,700        |

# 来週（9月12日から9月16日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

|          | 国内主要経済指標  | 国債等入札予定                    |                            |  | 海外主要経済指標   |
|----------|---|----------------------------|----------------------------|--|--|
| 9/12 (月) | 7月の機械受注統計(内閣府 8:50)<br>8月の企業物価指数(日銀 8:50)                       |                            |                            |  |  |
| 9/13 (火) | 7月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50)<br>7-9月期の法人企業景気予測調査季報<br>(内閣府・財務省共管 8:50) | 20Y<br>11,000億円<br>9/20発行  |                            |  | 8月の米財政収支<br>8月の英消費者物価指数  |
| 9/14 (水) |   | TB1Y<br>25,000億円<br>9/20発行 |                            |  |  |
| 9/15 (木) | 7月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)                                       | TB3M<br>44,000億円<br>9/20発行 | 流動性供給<br>2,000億円<br>9/20発行 |  | 英中銀MPC結果発表<br>8月の米生産者物価指数<br>8月の米小売売上高<br>7月の米企業在庫<br>8月の米鉱工業生産・設備稼働率<br>8月のユーロ圏消費者物価指数改定値 |
| 9/16 (金) |   |                            |                            |  | 8月の米消費者物価指数<br>9月のシンガポール消費者信頼感指数速報   |

## ●資金需給予想

| 単位：億円    | 銀行券要因   | 財政等要因    | 資金過不足    | オペ種類                         | 期日分                              | 新規実行分           | オペ合計    | 実質過不足    | 需給要因   |
|----------|---------|----------|----------|------------------------------|----------------------------------|-----------------|---------|----------|--|
| 9/12 (月) | 1,200   | ▲ 23,200 | ▲ 22,000 | 全店共通<br>CP買入<br>社債買入<br>国債補完 | ▲ 1,900<br>▲ 200<br>▲ 100<br>200 | 2,000           | 0       | ▲ 22,000 | TB3M発行▲44000償還42500<br>TB6M発行▲35000償還13300<br>物価連動10Y償還600 |
| 9/13 (火) | 1,000   | ▲ 1,000  | 0        | 国債買入<br>短国買入                 |                                  | 8,900<br>12,500 | 21,400  | 21,400   |  |
| 9/14 (水) | 0       | ▲ 6,000  | ▲ 6,000  |                              |                                  |                 | 0       | ▲ 6,000  | 源泉税揚げ<br>社会保障  |
| 9/15 (木) | ▲ 1,000 | ▲ 13,000 | ▲ 14,000 |                              |                                  |                 | 0       | ▲ 14,000 | 2Y発行▲23000償還12100<br>個人向け3Y・5Y・10Y▲1700<br>個人向け3Y償還700     |
| 9/16 (金) | ▲ 2,000 | 5,000    | 3,000    | CP買入<br>貸出増加                 | ▲ 8,400                          | 5,000           | ▲ 3,400 | ▲ 400    |  |
| 週間合計     | ▲ 800   | ▲ 38,200 | ▲ 39,000 | —                            | ▲ 10,400                         | 28,400          | 18,000  | ▲ 21,000 |  |

9/12は日銀予想、9/13以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、来週の資金需給は、12日に国庫短期証券の発行超、15日に2年債の発行超などの影響で資金不足日が続くと見込まれる。16日からは新しい基準比率が適用される。

短国市場は14日に1Y物、15日に3M物の入札が実施される予定となっている。海外勢の需要で地合いが左右される面が強い中、9月末にかけての残高確保の動きが注目される。

CP市場は13日にC P等買入オペが、5,000億円で実施される予定となっている。9月末に向けた動きもあり、レートの低下余地を探る展開も想定される。

主要なイベントとしては、15日の英中銀MPC結果発表などが挙げられる。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入